

協働パイロット事業

■事業内容

委託金 50 万円を基に、「地域づくり」のモデルとなる公益性・社会貢献度の高い事業を支援するための事業

■実施団体（4 団体）

名称	活動内容
① 大始良経済文化同友クラブ(OVC)	水環境に関する学習や河川敷広場の整備を継続して実施
② NPO法人ローズリングかのや	民泊等の施設、直売所や農家レストランに共通デザインの看板を設置
③ 串良まちづくり戦略会議	合宿誘致等を目指し、「ドリームカップ2010ドッジボール大会」や調査・報告会を開催
④ 川西町地域環境管理グループ	独居高齢者への支援や花壇の花植え等の環境整備や防犯活動を実施

Close Up 2

串良まちづくり戦略会議 川添 幸一 会長 ドリームカップ2010ドッジボール大会

県 内屈指の体育館である串良平和アリーナや周辺施設を市外へ広く周知し、各県代表が集う九州大会規模の大会を目指すことで、地域活性化につなげることを目的に活動を始めました。

昨年は、宮崎県を含め 26 チーム約 850 人が参加し「ドリームカップ 2010 ドッジボール大会」を開催。また、鹿児島大学と連携し、合宿誘致のための調査・報告会を実施しました。今年も、デモ合宿や大会を実施し夢実現に向けた活動を進めています。

将来的には、九州大会の開催だけでなく合宿の誘致を通して雇用の創出や地域のつながりの強化、遊休施設の再生を図るなど、スポーツ合宿都市構想の一助をなすプロジェクトに成長させたいと考えています。



鹿児島大学生による合宿誘致のための調査



ドッジボール大会記念写真

地域づくり推進事業

■事業内容

委託金 20 万円を基に、町内会が夢のあるまちづくりや地域にある課題の解決に向けて取り組む事業

■実施団体（5 団体）

名称	活動内容
① 王子町内会	和田井堰の環境美化活動を行い、ホテルの里作りを継続して実施
② 上野町内会	公道の安全確保のため、通行の妨げになる街路樹や高木伐採を実施
③ 大始良西町内会	地元産物を使い、餅つき大会やそばづくり教室を実施
④ 郷之原町内会	町内の高齢者を訪問し、調査結果をデータベース化したシステムを作成
⑤ 高須町内会	粗大ごみの回収作業や、高齢者世帯の庭木の伐採等を実施

Close Up 3

郷之原町内会 奥村 輝雄 会長 郷之原高齢者マップ作成プロジェクト

郷 之原町内では、高齢者が抱える問題を把握することで、今後の町内会活動の参考にしようと、高齢者マップの作成に取り組むことになりました。

そこで、個人情報等の勉強会の後、80 歳以上 39 人、65 歳以上の独居者 14 人を訪問。健康状態や不安に感じていること、また、支援の有無など、高齢者の実態を調査しました。

そこで得た調査結果をデータベース化し、地図情報を印刷できるシステムを作成しました。

今後は、高齢者マップを活かし、緊急時にも支援できるように、地域での声かけ・見守り支援などの訪問活動を行い、『結い』の精神で助け合いながら高齢者との交流活動を展開していきます。



個人情報に関する勉強会



高齢者宅の訪問活動

平成 22年度

市民とのパートナーシップ推進事業の 実績を紹介します

市では「共生・協働」による地域づくりを推進するために、市民の皆さんが自主的に取り組む「市民とのパートナーシップ推進事業」を実施しており、平成 22 年度は 12 団体が事業を実施しました。その実績を紹介します。

【問い合わせ】 市民活動推進課 ☎ 0994-31-1147

市の推進する「共生・協働」とは、

鹿屋市に暮らす市民の皆さんが相互に、または、市民の皆さんと行政が、信頼と理解のもとに一体となり、お互いの能力や特性を活かしながら、地域の実情に合ったより良いまちづくりの実現という目的を共有し、それぞれの地域にある課題解決と魅力あるまちづくりを計画し、みんなで連携・協力して取り組み、地域福祉の向上に努めることです。



チャレンジ・ボランティア推進事業

■事業内容

委託金 10 万円を基に、ちょっとした地域課題等を見つけ「自分たちでやってみよう」とする主体性や事業実施能力の向上を手助けするための事業

■実施団体（3 団体）

名称	活動内容
① 中央麓地区町内会	中央麓地区町内会に継承されてきたそば切り踊りの伝承活動
② おはなしグループちいさなくれよん	お話会の開催や小学校の読書まつり等に参加し、読み聞かせを披露
③ DV 被害者支援の会 アミーチ	DV に関し、被害者支援と関係機関との連携について、セミナーを開催

Close Up 1

中央麓地区町内会 海老原 寛業 会長 そば切り踊り保存事業

そ ば切り踊りは、約 120 年前に鹿児島市谷山地区から伝承されたものです。現在、中央麓地区町内会高齢者部のメンバーを中心に 10 年前から復活させて活動を行ってききましたが、高齢化が進んでいるため、同町内会の子どもたちに継承し、後世に永くこの踊りを残したいと考え、同事業に参加しました。



当初、恥ずかしそうに練習をしていた子どもたちも、次第に高齢者の指導を熱心に聴くようになり、自然と交流が図られるようになったことで、同町内会の共生・協働にも寄与することができました。

子どもたち、保護者、そして高齢者部の皆さんの頑張っている姿を見ると、どんな事情や困難があろうと、そば切り踊りを伝承していかなければならないと改めて感じています。



練習風景



吾平町敬老会で披露